

分類	No	項目名	記載内容	評価基準	配点
基本事項	1	基本方針	本業務実施の背景・目的を踏まえ、基本的な考え方や取り組み姿勢、他社と比較した優位点、期待される支援効果について記載すること。	個別伴走支援企業における持続的な新規事業創出がなされる体制の構築が期待できるものとなっているか。また岡山市全体として機運醸成につながる提案か。	5
	2	実施体制・プロジェクト管理	どのような体制及び人員で実施するのかを記載し、本業務の責任者を含めた実際に携わる者ごとに、役割、経歴、本業務に関連する具体的な支援実績（社数や成果）、特記事項等を明らかにすること。併せて、進捗管理の方法、課題発生時の対応方針を記載すること。	本事業の目的達成のため、十分な業務実績を有する実施体制及び適切な人員配置が採られているか。また、進捗管理の方法、課題発生時の対応方法が具体的に示されているか。	15
	3	提案価格	本業務にかかる全ての経費について、人件費と物件費に分けて、詳細な項目、内訳、金額等（第一期及び第二期の見積額は、「公示文2(4)概算予算額の内訳」に準ずる。）を見積もること。また、見積書は、第一期と第二期の内訳が分かるように作成すること。	提案価格を相対的に評価する。	5
業務内容	4	本業務の周知・参加者募集	本業務の周知・応募促進に係る施策について、ターゲット企業への具体的なリーチ手法（広告の媒体、既存ネットワークの活用方法）と目標とする応募社数に触れ、具体的に記載すること。	単なる広報に留まらず、潜在的な意欲層を掘り起こすための独自のノウハウが示され、十分な応募数を確保できるものとなっているか。	10
	5	個別支援企業の選定支援	説明会兼セミナー、個別相談会の内容・開催時期、選定基準・選定支援の内容等（企業の意欲やリソースを客観的に評価するための独自スコアリング案やオンライン面談のヒアリング事項）を具体的に記載すること。	・企業の「自社でも取り組める」という動機付けと、個別支援への応募を促す仕掛けが組み込まれているか。 ・経営者のコミットメントや社内体制の現状など支援後のミスマッチを防ぐための基準が、専門的見地から具体的に提示されているか。	15
	6	個別支援	伴走支援のステップごとの支援手法や考え方、ポイント等に加えて、支援の回数・頻度、形式（対面、オンライン等）について、具体的に記載すること。また、コミュニケーションツールの活用方法や面談間の課題の設定方法についても具体的に記載すること。	新規事業創出のノウハウ・知識・マインドセットの習得、一連のプロセスの定着のほか、持続的な新規事業創出の体制構築が期待できるものとなっているか。また、支援企業との信頼関係の構築、モチベーションの向上・維持が期待できるものとなっているか。	25
	7	キックオフイベント・中間発表会	キックオフイベント・中間発表会の内容や開催時期について、企業間の心理的ハードルを下げ、活発な情報交換を促すとともに、取組意欲を高めるための企画案を具体的に記載すること。	支援企業の相互交流による相乗効果が期待できるものとなっているか。	5
	8	面的支援	連続セミナーのプログラム構成・内容を具体的に記載すること。なお、各回のアウトプット等が最終的にどう新規事業構想に繋がるかといった全体構成図を提示すること。	多くの市内中小企業者にとって、新規事業創出のノウハウ・プロセスの習得・定着が期待できるものとなっているか。また、途中からの参加者であっても学習内容を習得・定着しやすいものとなっているか。	10
	9	成果報告会	成果報告会の内容・開催時期について、登壇企業以外の参加者が「自社でも取り組める」と感じさせるための構成案を具体的に記載すること。	成功事例の紹介のみならず、事業化の過程で直面した課題と克服策を共有することで、市全体の機運醸成に資する構成になっているか。	10